

あなたの毎日に 政治はホントに関係ない!?

教育費は高く、社会に出てからも長年重くのしかかる奨学金の返済。賃金は上がらず、物価は上昇。先行きが見えない不安定な労働環境。明日が今日より良くなるなんて思えない……。みんなの政治に関する本音とデータ、集めてみました。

家にお金がないと塾にも行けない。希望の高校にも大学にも行けない (10代女性)

不安定で将来の見通しが立たない。この先生きていけるか不安 (20代女性)

それホント!?

2021年における非正規の職員・従業員は2064万人。「正規の職員・従業員」と「非正規の職員・従業員」の合計(5629万人)に占める「非正規の職員・従業員」の割合は **36.7%**

※総務省統計局「労働力調査(基本集計)」

それホント!?

各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数は、日本は **156カ** **国中120位** (2021年)

※世界経済フォーラム (World Economic Forum)

それホント!?

G7で同性カップルに法的保障がないのは **日本だけ!**

大学4年間でかかる学費 **約520万円**

約240万円



国公立大学平均

私立大学平均

※文部科学省資料

「政治で何かが変わるとは思えない」 (10代男性)

それホント!?

2019年の参議院選挙での投票率は、**10歳代が32.28%**、**20歳代が30.96%**、30歳代が38.78%。一方、60歳代は63.58%である。

※総務省

「将来、影響を受けるのは私たち若者。気候危機対策を進めて」 (20代女性)

気候変動は人類共通かつ最大の脅威であり、その影響はこれまでにない厳しい気象現象や生態系へのダメージなどの形で顕在化し、**気候危機と言われる時代**を迎えている。

若者が主役の政治へ

いま、行動することが、これからの社会を作っていきます。
政治を使って一緒に課題を解決していきましょう。

立憲民主党は目指します！



家庭の事情に
関係なく学びたい
気持ちを大切に
してほしい



働きたいし
働いた分だけ
ちゃんとお金を
もらいたい



ジェンダー平等
日本も早く
世界水準に！



私たちの未来を
気候危機から
守ってほしい



もっと政治に
参加したい

・大学授業料の無償化

国公立大学の授業料を無償化し、私立大学生に対しても
国公立大学と同額程度の負担軽減の実施

・ブラック校則の見直し、生徒主体の学校づくりの支援

・ヤングケアラーの支援

ヤングケアラーを早期に発見し、本人及び家庭に対して教育や
医療など横断的な支援を実現する法律を整備

・時給1,500円を将来的な目標に、中小零細企業を中心 に助成をしながら、最低賃金を段階的に引き上げ

・「同一価値労働同一賃金」の法制化

・原則として、希望すれば正規雇用で働ける社会

・選択的夫婦別姓制度の早期実現

・同性婚を可能とする法制度の実現

・クオータ制を導入し、男女同数の議会「パリテ」を実現

・2030年に温室効果ガス排出を2013年比55%以上削減、 2050年までの早い時期にカーボンニュートラルを実現

・「未来世代法」の制定

将来世代への影響を長期的観点から検討し、課題を政府に勧告

・各種選挙の被選挙権年齢を18歳(参議院議員と 都道府県知事は23歳)に引き下げ

・公示・告示から投票前日まで24時間いつでもどこでも 投票できる「インターネット投票」の導入

いまこそ
生活安全保障
が必要です。



立憲民主党
ウェブサイト



立憲民主党
政策ページ

▲くわしくはこちらから



立憲民主党
立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302